

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区西平井保育園

テーマ「自然の不思議を見つけよう」



我が園の園庭には、桜・イチョウ・柿・ゴールドクレスト・ドングリなどの木々が豊富で、季節ごとにさまざまな彩を見せています。また、門の横には畑があり、夏はひまわり、秋はさつまいもなどを季節ごとに栽培して子ども達の楽しみの一つとなっています。そして土の中には、子ども達に大人気のダンゴムシや謎の幼虫などたくさんの虫たちが住んでいます。

子ども達は、園庭に出ると興味津々で、目をキラキラさせ、夢中で自然物に触れたり遊んだり観察したりしながら、驚きや感動を日々味わっています。

これらの環境を活かし、子ども達が自然からさまざまなことを学び、興味を広げ、さらに関心を深めていけたらとの思いでこのテーマに決まりました。



ダンゴムシを知ろう！

《ダンゴムシ、たくさんいるよ！》

春、ダンゴムシ探しが盛んになりました。園庭に出るとバケツとシャベルを持って、早速ダンゴムシ探しが始まります。ダンゴムシだけでなく、何かの幼虫も見つけました。「プランターの下にいっぱいいるんだよね〜」「あっ、いた！」「何匹つかまえた？」みんなで盛り上がっていました。

《ダンゴムシを飼ってみよう！》

ダンゴムシを捕まえた場所にシールを貼って“ダンゴムシマップ”を作りました。他にもダンゴムシを飼育してお世話をしたり、虫眼鏡で観察し脱皮の様子や赤ちゃんを見たり、ダンゴムシ迷路で実験してみたりもしました。子ども達は夢中になって見ていました。



《いろいろな発見・気づきがありました》

「ダンゴムシはどこにいる？（好きな場所）」
「ダンゴムシは何を食べる？」 「ダンゴムシの足は何本？」など、子どもからの疑問を他の子ども達にも知らせて一緒に図鑑などで調べました。また、たくさん穴の開いた葉を見つけると「きつと、ダンゴムシが食べたんだ！」と大騒ぎでした。



色水をつくってみよう！

この夏、園庭で咲いた朝顔や栽培物の葉っぱなど興味のある物を採取し、夏ならではの色水作りに挑戦しました。

小ぶりのすり鉢やすりこぎ棒、こし器などを用意しておく、自分たちですり潰してこして・・・

まるで理科の実験をしているようで、真剣なまなざしで取り組んでいました。



《いろいろな色ができたよ！》

できた色水を容器に移してみると、それぞれ色が違い、不思議を感じたり感動したりしました。

「わー！きれいー！」

「ピンクの花なのに紫になったー」

「葉っぱをすり潰すと抹茶色だ！」

いろいろなつぶやきが聞かれました。

《テーブルが光ってるー！》

年長児が出来上がった色水を窓際で観察していると外の日差しが当たり、テーブルにキラキラした光が現れました！

「見て見て！テーブルが光ってるー！」
年長ならではの発見や感動を味わった瞬間でした。





園庭にある身近な自然を見てみよう！

子ども達が日頃興味のある生き物や植物を、書画カメラを使って上映会を開催！巨大なダンゴムシがスクリーンに映し出されると、ひっくり返った裏側を観察したり、たくさんの足の動きがはっきり見えたりしてみんな大興奮でした！



《子ども達のつぶやきがいっぱい！》

園庭で収集した落ち葉や生き物を拡大し、クイズにしてみました。

「柿の葉っぱ」正解！「イチョウ」正解！
 「これは？」 「・・・」
 「どんぐりの帽子でした」
 「カエルみたい！」 「なんかこわ〜い」

園庭の砂粒を拡大して見たら…
 「隕石！」 「大きな岩！」

子ども達の声が会場中を飛び交い、驚きや発見の連続でした！

まとめ

- ・今年度は子ども達にとって身近な『自然』をテーマにし、春夏秋に季節ごとのテーマを設け、子ども達の探求心や主体性に合わせて活動を進めてきた。ダンゴムシの飼育は園内でも身近に触れ合える環境を整えたことで、ダンゴムシの行動を観察したり、世話をしたりなどの興味を持ち、捕まえるだけでなく、ダンゴムシの生態への興味も広がった。
- ・『自然』への取り組みを通して自然物と共に虫めがね、すりこぎ棒、すり鉢等の普段あまり使うことのない道具に触れられたことも良かった。
- ・書画カメラを活用し、自然物を拡大して見ることができた。来年度は回数を増やす等、更に子ども達の興味に沿って活用していく。
- ・すくわくコーナーを設定し、ダンゴムシの飼育箱や道具、調べたことの掲示、自然関連の本を置いたことで子ども達も更に関心を持つきっかけとなった。
- ・今後に向けては、日ごろから子ども達の自然に対する驚きや呟きなど、小さな声に耳を傾けていき、子ども達が興味を持ったものを書画カメラで拡大して見る機会を増やすなど探求心を深めていく。また、すくわくプログラムを通し、準備した道具を子ども達が自由に手に取り使ってみる環境を整え「やってみよう」「見てみたい」「調べてみたい」など、主体性を大切に組み込んでいく。